

令和5年度 第2回 まつやま人口減少対策推進会議

運営幹事会 議事概要

(1) 開催日時・会場

開催日時：令和5年9月6日（水） 10:00～11:45

場 所：松山市役所 本館5階 本部会議室

(2) 出席者

「令和5年度 第2回 まつやま人口減少対策推進会議 運営幹事会 出席者名簿」に記載のとおり

(3) 議事

1. 専門部会の活動報告等について
2. 第2期松山市まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI 達成状況について
3. その他

(4) 議事概要

1. 専門部会の活動報告等について

今年度の取組について各専門部会長から説明後、意見交換。

【ライフデザインプロジェクト】

- ・ライフデザイン出張講座について、前期日程で松山大学、聖カタリナ大学、松山東雲女子大学で実施し参加学生は延べ248名。後期日程で人間環境大学、松山東雲短期大学、愛媛大学で実施予定。
- ・学生ボランティアについて、8月に今年度の活動の説明会を兼ねた勉強会を開催。学生に興味関心の分野を尋ねたところ、ジェンダーや就活など、働くことや社会で求められることなどに対する関心や不安があるという印象。
- ・認定スピーカーについて、愛ワークと連携して認定を進めており、現在18名が登録。ライフデザイン出張講座での登壇や、男性の家事育児参画、育休復帰の講座などでゲストとしてお話しいただいている。
- ・採用の活発な企業には若者が憧れるロールモデルがおり、その人と働きたいという学生もいる。また若者にとってもそのような人の話を見聞きするのは、自分自身の人生に反映しやすく響きやすいので、そういった人材を増やすことが企業や地域にとっての目標。
- ・この取組で出た意見や学生が体感したことを整理し、松山で自分が働きながら暮らすことを具体的にイメージしたときに、こんなまちにしたいという言葉を提言としてまとめたい。

(質疑・意見)

- ・地域によっては大学のカリキュラムの中に、ライフデザイン講座が組み込まれているが、松山市の大学はそのような取組を行っていないのか。
- ⇒把握している範囲では、松山大学や愛媛大学でキャリア形成の授業を実施している。
- ただ、視点が就職にあるのか、ライフデザインにあるのかというの不明。
- ・大学への県内入学者を増やし県内就職率を高めることが重要ではという議論もあり、キャリア形成などの取組が効果を発揮するには時間がかかるが、継続していくことが重要。
 - ・若い層の流出防止が盛んに目標設定されているが、それが目的ではなく結果としてそうなるといふような取り組みが重なっていくといい。出て行きやすさと戻ってきやすさの両方の流動性を確立することも重要。

【企業の生産性アッププロジェクト】

- ・今年度はデジタル化に関する経営デザインの支援、インボイス制度に関連したクラウド会計のデジタル化、高速通信技術活用研究会の3点に取り組んでいる。
- ・経営デザインの支援については、個々の企業ではなく面的な支援とするために商店街等と連携してできないか検討している。
- ・クラウド会計の支援については、インボイスの対応が遅れている企業も多く、話題としても下火になってきているのではと感じている。
- ・コロナ前、コロナ禍とICTの利活用調査を行っており、今回コロナ後に実施した調査の分析結果と合わせて、地域の中小企業が生産性を上げるために必要なことをまとめていく。

(質疑・意見)

- ・クラウド会計の支援は、中小事業者を主な対象にしているが、もう少し大きな規模の事業者もフォーカスしないと人口減少の対応にはならないのでは。
 - ・人口減少対策としては、人が減っても大丈夫なようにICTを活用するという点と、ICTを活用した働きやすい職場になることで、働きたいと思える職場になるという2点ある。先のこと考え、今後その点も議論していきたい。
- ⇒地域全体のICTレベルを引き上げることで、若い方達が首都圏と地方という垣根を超えて、質や付加価値の高い仕事ができる。それができると例えば松山にいても首都圏の企業とシームレスに仕事して、首都圏並みの年収を稼ぐことができる世の中になってきつつある。

2. 第2期松山市まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI達成状況について

事務局から説明後、各委員から質問・意見など。

- ・SDGsという言葉は浸透してきている。大学生も就職活動をするときなど、SDGsや環境面への配慮など、企業が行っているかどうかを気にしている。
- ・8割がほぼ達成しているという数字だけ見ると順調に推移していると思うが、人口減少や総合戦略の機能をもっと深めていくという点も必要になってくるので、今後次期総合戦略の指標なども考えていければ。

- ・移住フェアなどに来られる方も、最近では地方でビジネスがしたい、松山で起業したいといった希望がある人が増えてきた印象があるが、松山にその受け皿が少ないという問題も出てきている。

4. その他について

- ・事務局から今後の運営幹事会の活動、総会の予定について説明。